## 奥の細道むすび の 地 「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和七年九月度 入賞句一覧

投句数 千六百九十七句

名和 よちゑ

選

特選

炎天の

プ

ル

で 日 け 大垣市 児 中

=

すすと 。 。 と、 目 。 皮・ ・ ・ ・ ・ いカ膚杯 切ブのプ りト薄し り遊んで学んでください。ト虫やセミ、ヘビなどは脱皮海皮がむけます。そのことを-ルで遊んで、すっかり日悔 皮を焼 を一け 重脱を ね皮し なてどんどんばんしたようです。 成現で最し日 した焼 します。中学二年生でところがおもしろい焼けしてしばらくする でいる で

扇風機音だけ響く自習室

小島 千乃 (中三)

大垣市

追もノ い型 | 学 込がト校 み古をの にそ取教かうつ室 かかっています。 扇風機の音りです。 小さくカタカタ音がっているのでしょうか。 とて室ではなく「自習室」とあり 音で少ります。 しいか 救るで静 わよう風本 いす。音話を じ校けで も受がい 見験聞るて生この と取れます。 全ですね。 学習のか、調べ物に 習風で

夏休み塾行きすぎて家みたい

松原 咲華(·

大垣市

子人土 ではなく、現へ一人に真剣により、おりに待った。 現実を受け入れて取りたつき合って応援とりたりますが組まれていた。 取してん 取り組んでいる姿が伝わってきましてくださいます。 そんな毎日をていることでしょう。 学校の先生んびりとしたいところですが塾に りのい り嫌がっているの先生も生徒の るのは、様一、

## 秀逸

昼寝して夢の中まで夏休み 「世れの高校見学夏の風 「大花火家族の声も聞こえない がの夜静かにページめくる音	加 加 大 大 大 大 大 大 茂 茂 垣 垣 垣 垣 郡 郡 市 市 市 市 市 市 미	村 梅 川 七 竹 水 安 山 村 合 里 下 谷 西	晴 伽 改 株 花 (中三) 株 花 (中三) サーン
花火家族の	垣	川 合	ひより (山
刈りの後の田んぼでイナゴ取	茂郡川辺		良 莉
の夜静かにページ	茂郡川辺	村山	琉
田舎町玄関居座るさつまいも	加茂郡川辺町	松 井	晶飛(中一
みなそろうさんまの塩焼き並ぶ夕食	加茂郡川辺町	吉安	彩乃(中一)
太るのはおいしいものある秋のせい	加茂郡川辺町	<b>渡</b> 辺	空(中三)

## 入 運

小

中

· 学 生

0 部

夏シャ 陽を浴 酷暑の 弟の 雷が 夕風 泡は 祖母 秋 ソー 夏の ラ ラフティ 淡路島玉葱スー ご先祖に思い 春日和空に近づく 夏風がふわ 自転車で日盛 が A 7.雨風率 に じ 来た香りで分かる秋の風 夜勉強はげむペ ネ瓶光り輝く 育てた真っ赤なミニトマ ダ水歴史の の家ソー け び ひまわり ツ 日テニス が て レ ング青葉の中を下って も会わない夏休み モ 暑い空気に炙られる 畳で寝てる夏の りと香るラフティ いて暴れ出す を馳せる墓参り ン ŋ ダ水飲み一 揺れて影伸びる ソー コ 年表暗記した の中上る坂 プ飲みました 、観覧車 1 ガラス玉 ンの ダで集中の トで目が 音 眠 朝 ŋ ング N 屯 大垣市 加茂郡 加茂郡 大垣市 川 川 辺 辺 町 町 平岡 髙橋 池内 押見 片 伊藤 池村 足立 棚瀬 梶本 伊藤 國枝 西脇 山 市 山 中川 池 内 Ш 山 崹 内 陽斗 楽 斗 蒼真 夏希 琴音 友翔 菜月 陽翔 周生 悠乃 初月 真夕 夏希 哲平 愛莉 颯一 かれ 松之助 (中三) (中一) (中三) (中三) (中三) (中一) (中三) 郎 (中二) (中二) (中二) (中二) ん (中二) (中二) (中二) (中二) (中二) (中一) (中二)

## 選 者 吟

友達の浴衣姿に照れる僕

加

茂郡川

辺

町

町

田

葵

(中三)

加茂郡川

辺

町

坪内

汰樹

(中一)

家こもり誰

月夜茸標本の骨おどり出す

よちゑ

